

➤ 著書（単著）

- 1) 伴信太郎. 21世紀プライマリ・ケア序説. 大阪: プリメド社, 2001.
- 2) 伴信太郎. プライマリ・ケア実践のための臨床教育—指導医と医学生・研修医への道しるべ. 東京: エルゼビア・ジャパン, 2004.
- 3) 宮崎景. エビデンス身体診察: これさえ押さえれば大丈夫. 伴信太郎監修. 東京: 文光堂, 2007.
- 4) 伴信太郎. 21世紀プライマリ・ケア序説, 改訂版. 大阪: プリメド社, 2009.

➤ 著書（共著）

- 1) 佐藤寿一. スポーツ医科学キーワード, 臨床スポーツ医学臨時増刊号 1999. 黒田善雄, 中嶋寛之, 小林修平, 村山正博, 河野一郎編. 東京: 文光堂, 1999, pp32-33, 72-73, 381, 397-398.
- 2) 伴信太郎. 家庭医の視点とは, 家庭医プライマリ・ケア医入門. 家庭医療学研究会編. 大阪: プリメド社, 2001, pp286-292.
- 3) 藤崎郁, 伴信太郎. フィジカルアセスメント完全ガイド. 東京: 学研, 2001.
- 4) 佐藤寿一. 糖原病/糖尿病, 運動生理・生化学辞典. 大野秀樹, 井澤鉄也, 長澤純一, 伏木亨, 跡見順子, 佐藤祐造, 芳賀脩光編. 東京: 大修館書店, 2001, pp363/366-367, .
- 5) 鈴木富雄, 伴信太郎. 胸部の診察: 視診・触診・打診・聴診, 研修医ノート. 永井良三編. 東京: 診断と治療社, 2001, pp372-374.
- 6) 吉岡哲也, 伴信太郎. 診断情報の評価: 感度・特異度・尤度比を中心に, 研修医ノート. 永井良三編. 東京: 診断と治療社, 2001, pp289-291.
- 7) 伴信太郎. 基本的臨床技能の学び方・教え方. 医学教育学会臨床能力教育ワーキンググループ編. 東京: 南山堂, 2002, pp1-5, 48-69, 98-111, 121-131, 178-182.
- 8) 伴信太郎. 臨床医学教育, 医学教育白書 2002 年度版. 医学教育学会編. 東京: 篠原出版新社, 2002, pp 33-38.
- 9) 伴信太郎. 総合診療と家庭医学, アメリカ・カナダ医学留学へのパスポート Vol 2. 日米医学医療交流財団編. 東京: はる書房, 2002, pp65-69.
- 10) 鈴木富雄. 便秘・下痢, 総合外来初診の心得 21 か条, 総合診療ブックス. 福井次矢, 小泉俊三, 伴信太郎監修, 松村真司, 北西史直, 川畑雅照編. 東京: 医学書院, 2002, pp202-211.
- 11) 鈴木富雄. 胸部の診察, コアカリキュラム対応, 診療の基本. 大滝純司, 仲田和正編. 東京: 金芳堂, 2002, pp342-348.

- 12) 向原圭. おなかが痛い おなかが重い, 総合外来初診の心得 21 か条, 総合診療ブックス. 福井次矢, 小泉俊三, 伴信太郎監修, 松村真司, 北西史直, 川畑雅照編. 東京: 医学書院, 2002.
- 13) 鈴木富雄. 在宅抗菌薬治療, 今日の治療指針 2005. 山口徹, 北原光夫編. 東京: 医学書院, 2005. pp1085-1086.
- 14) 鈴木富雄. プライマリ・ケア用語集. 日本プライマリ・ケア学会編, 東京: エルゼビア・ジャパン. 2005.
- 15) 鈴木富雄. ベッドサイド教育の学び方・教え方, 新しい医学教育の流れ: '04 医学教育セミナーとワークショップの記録. 高橋優三, 鈴木康之編. 名古屋: 三恵社, 2005, pp107-111.
- 16) 鈴木富雄. プレゼンテーションの上手な方法を教える: 決定版! すぐに使える臨床研修指南の 21 原則. 尾藤誠司, 藤沼康樹編. 東京: 医学書院, 2005, pp132-143.
- 17) 吉岡哲也. 私の USMLE 攻略法-Step2 CS, アメリカ臨床留学への道 改訂第 3 版. 佐藤隆美, 中川伸生編. 東京: 南山堂, 2005, pp101-111.
- 18) 伴信太郎. 主要症候へのアプローチ: 疲労、全身倦怠感, 内科学. 金澤一郎他 3 名編. 東京: 医学書院, 2006, pp 157-159.
- 19) 伴信太郎. 臨床スキル教育とスキルスラボ: スキルスラボの全国調査結果を含めて, 卒前医学教育の新しい動向 2, 医学教育白書 2006 年度版. 医学教育学会編. 東京: 篠原出版新社, 2006, pp60-64.
- 20) 伴信太郎. 新医師臨床研修制度をめぐって: 必修化は何をもたらすか?, みんなで考えよう! ニッポンの医療 4 Live Report-みんなで育てよう、よい医師を!, 卒後教育のこれから. 社団法人臨床心臓病学教育研究会編. 大阪: 社団法人臨床心臓病学教育研究会, 2007, pp185-207.
- 21) 伴信太郎. 卒前教育、共用試験 OSCE: OSCE 施設の全国調査結果を含めて, 日本の OSCE の現状. OSCE の理論と実際. 大滝純司編. 東京: 篠原出版新社, 2007, pp67-72.
- 22) 伴信太郎. 卒前教育、共用試験 OSCE: OSCE 施設の全国調査結果を含めて, 日本の OSCE の現状, OSCE の理論と実際. 大滝純司編. 東京: 篠原出版新社, 2007, pp67-72.
- 23) 佐藤寿一. 診療所実習の意義とは/大学から診療所へ実習参加を要請するには/実習の目標と方略の例: 名古屋大学実習カリキュラムから, 診療所で教えるプライマリ・ケア: 地域で医師を育てるために. 前沢政次, 高屋敷明由美, 藤原靖士編. 大阪: プリメド社, 2007, pp11-12, 30-31, 37.
- 24) 鈴木富雄. 激しい腹痛: プライマリ・ケア救急. 日本家庭医療学会編. 東京: プリメド社. 2007, pp24-29.
- 25) 吉岡哲也. 理想の家庭医療を求めて: 家庭医療先進国アメリカの実情, シリーズ日米医学交流 No.7 家庭医学・総合診療にみる医学留学へのパスポート. 財団法人日米医学交流財団編. 東京: はる書房, 2007, pp29-46.

- 26) **川尻宏昭, 西城卓也.** 外来診療教育の未来, 新しい医学教育の流れ'07 春: 第 24 回医学教育セミナーとワークショップの記録. 岐阜大学医学教育開発研究センター編. 名古屋: 三恵社, 2007, pp117-128.
- 27) **若林英樹.** プライマリ・ケアが全人的医療であるということ: 行動科学トレーニングへの挑戦, 家庭医学・総合診療にみる医学留学へのパスポート. 財団法人日米医学交流財団編. 東京: はる書房, 2007, pp47-60.
- 28) **菊川誠, 錦織宏, 鈴木富雄.** こんな結果でええんか?: 診断力強化トレーニング. 松村理司, 酒見英太編. 東京: 医学書院. 2008, pp177-180.
- 29) **田口智博.** 腎盂腎炎や膀胱炎に適切な抗菌薬は何か?: キノロンや ST でなくてはならないのか?, 臨床に直結する感染症診療のエビデンス: ベッドサイドですぐに役立つリファレンスブック. 青木眞監修. 東京: 文光堂. 2008. pp195-199.
- 30) **田口智博.** プロバイオティックは意味があるのか?, 臨床に直結する感染症診療のエビデンス: ベッドサイドですぐに役立つリファレンスブック. 青木眞監修. 東京: 文光堂. 2008. pp171-172.
- 31) **伴信太郎.** ゲノム医療とプライマリ・ケア, 実践ゲノムの最前線. 神戸大学大学院医学研究科クリニカルゲノムインフォマティクス人材養成ユニット編. 東京: 六然社, 2009, pp255-258.
- 32) **佐藤寿一.** 予防のためのアプローチ法, 予防医学, 疫学と予防, 内科学総論. 内科学書改訂第 7 版. 伴信太郎, 小川聡総編. 東京: 中山書店. 2009, pp112-114.
- 33) **鈴木富雄.** カンファレンス・回診でよくあるつまずきポイントは何ですか?, 臨床研修指導医のための Question&Answer 研修医指導の実践現場における Question 2009. 畑尾正彦編. 東京: 羊土社, 2009, pp80-85.
- 34) **勝山貴美子他.** 対応策の心得, 医療現場のイエローカード セクシュアルハラスメント対処法: 愛知県医師会の事例調査から. 愛知県医師会編. 東京: メジカルビュー社, 2009.
- 35) **伴信太郎.** 医学教育の課題と展望, 第 1 部 現状と振り返り. 医学教育白書 2010 年度版 ('07~'10). 日本医学教育学会編. 東京: 篠原出版社, 2010, pp1-2.
- 36) **伴信太郎.** 総括, 第 2 部 日本医学教育学会の活動. 医学教育白書 2010 年度版 ('07~'10). 日本医学教育学会編. 東京: 篠原出版社, 2010, pp265-270.
- 37) **鈴木富雄.** 8. 身体診察技能, 第 1 部 現状と振り返り. 医学教育白書 2010 年度版 ('07~'10). 日本医学教育学会編. 東京: 篠原出版社, 2010, pp33-36.
- 38) **鈴木富雄.** 臓器別医療との違いとは, 専門医療と家庭医療, 新家庭医プライマリ・ケア医入門. 日本家庭医療学会編. 大阪: プリメド社, 2010, pp14-21.
- 39) **鈴木富雄.** 12 不明熱を診断する, 事例で学ぶ感染症診断ストラテジー. 馬場尚志編. 東京: 文光堂, 2010, pp81-89.

- 40) **西城卓也**. 18. 国際的な医学教育関連の学会・雑誌, 第 1 部 現状と振り返り. 医学教育白書 2010 年度版 ('07~'10). 日本医学教育学会編. 東京: 篠原出版社, 2010, pp257-264.
- 41) **勝山貴美子**, 青山ヒフミ, 上野恭裕, 北居明, 小笠幸子. 3 節 中小規模病院看護職員資質向上委員会およびネットワーク構築事業とその評価, 第 11 章 看護からみた中小規模病院の課題と活性化支援, 大阪府立大学における分野横断型研究の展開: 21 世紀科学研究所の挑戦. 大阪: 大阪公立大学共同出版会, 2010, pp184-190.
- 42) **伴信太郎**. はじめに, よくわかる医療面接と模擬患者. 鈴木富雄, 阿部恵子編. 名古屋: 名古屋大学出版会, 2011, pi-ii.
- 43) **鈴木富雄**. 総合診療医ドクターG 医者は病気をどう推理するか. NHK「総合診療医ドクターG」制作班編, 東京: 幻冬舎, 2011, pp177-197.
- 44) **西城卓也**. 第 3 章 医療面接の評価: 客観的臨床能力試験 (OSCE), よくわかる医療面接と模擬患者. 鈴木富雄, 阿部恵子編. 名古屋: 名古屋大学出版会, 2011, pp23-35.
- 45) **西城卓也**. 4. 扁桃腺が腫れた, II さらに細かく分類しよう, 考える身体診察: 症状・主訴から組み立ててゆく身体診察のストラテジー. 大滝純司監修, 川島篤志, 菊川誠, 錦織宏, 増田浩三編. 東京: 文光堂, 2011, pp70-75.
- 46) **西城卓也**, 高村昭輝, 平川仁尚, 吉村学. 地域医療を活性化させる臨床教育, 新しい医学教育の流れ'10 夏: 第 37 回医学教育セミナーとワークショップの記録. 岐阜大学医学教育開発研究センター編. 名古屋: 三恵社, 2011, pp229-249.
- 47) **西城卓也**, 田口智博. 研修医との効果的な面談, 新しい医学教育の流れ'10 秋: 第 38 回医学教育セミナーとワークショップの記録. 岐阜大学医学教育開発研究センター編. 名古屋: 三恵社, 2011, pp103-126.
- 48) 藤崎和彦, 鈴木康之, 田川まさみ, **西城卓也**. 医学教育専門家養成のためのパイロットコース, 新しい医学教育の流れ'11 冬: 第 39 回医学教育セミナーとワークショップの記録. 岐阜大学医学教育開発研究センター編. 名古屋: 三恵社, 2011, pp45-96.
- 49) 藤崎和彦, 鈴木康之, 田川まさみ, 守屋利佳, **西城卓也**. 評価, 新しい医学教育の流れ'11 春: 第 41 回医学教育セミナーとワークショップの記録. 岐阜大学医学教育開発研究センター編. 名古屋: 三恵社, 2011, pp83-92.
- 50) **田口智博**, 岡田唯男. ヘルスメンテナンス (健康増進と予防), 総合診療・感染症科マニュアル. 八重樫牧人, 岩田健太郎監修. 東京: 医学書院, 2011, pp395-403.
- 51) **田口智博**. 7. 間欠性跛行, IV. 病態の確認, 考える身体診察: 症状・主訴から組み立ててゆく身体診察のストラテジー. 大滝純司監修. 東京: 文光堂, 2011, pp143-151.
- 52) **伴信太郎**. 第 12 章 卒後臨床教育の現状と今後の展望: 世界的動向を踏まえて. シリーズ生命倫理学 第 19 巻 医療倫理教育. 伴信太郎, 藤野昭宏編. 東京: 丸善出版, 2012, pp241-248.

- 53) **鈴木富雄**. 病棟の臨床推論の学び方, The 臨床推論 研修医よ, 診断のプロをめざそう!. 大西弘高編. 東京: 南山堂, 2012, pp49-59.
- 54) **勝山貴美子**. 第 4 章 看護師-患者-家族関係, シリーズ生命倫理学 第 14 巻 看護倫理. 浜渦辰二, 宮脇美保子編. 東京: 丸善出版, 2012, pp64-84.
- 55) **勝山貴美子**. 4. 看護組織の管理/5. 看護ケアのマネジメント, 看護管理と医療安全. 大島弓子, 飯島佐知子編集. 東京: 放送大学教育振興会, 2012, pp54-81.
- 56) **竹中裕昭**. 第 2 節 一般身体科領域, 第 I 章 領域ごとの臨床実践, 2 臨床編, 家庭療法テキストブック. 日本家族研究・家族療法学会編. 東京: 金剛出版, 2013, pp166-169.
- 57) **勝山貴美子**. 14. 目標管理/15. キャリア発達理論/16. キャリアパス/17. クリニカルリーダー, 組織マネジメントのためのスキル, 第 2 章 病棟マネジメントに役立つ理論とスキル, 病棟マネジメントに役立つ! みんなの看護管理. 任和子編. 東京: 南江堂, 2013, pp64-83.

➤ 監修

- 1) コアカリキュラム対応 基本事項. **伴信太郎**編. 京都: 金芳堂, 2006, pp115-142.
- 2) 医療面接: 根拠に基づいたアプローチ. **向原圭**監修. 東京: 文光堂, 2006.
- 3) 見逃せないよくある外臓疾患の診かた・みつけかた. 野村英樹, **伴信太郎**編. 東京: 中山書店, 2011.
- 4) よくわかる医療面接と模擬患者. **鈴木富雄**, **阿部恵子**編. 名古屋: 名古屋大学出版会, 2011.
- 5) フィジカルアセスメント完全ガイド第 2 版. **伴信太郎**監修. 東京: 学研メディカル秀潤社, 2012.
- 6) シリーズ生命倫理学 第 19 巻 医療倫理教育. **伴信太郎**, 藤野昭宏編. 東京: 丸善出版, 2012.
- 7) 加齢症状で悩む患者さんに応える医学: 年のせいにしたくない 30 の症状. 葛谷雅文, **伴信太郎**編. 大阪: プリメド社, 2014.

➤ 訳書

- 1) 外来診療実践ガイド: The Practiced Guide to the Care of the Ambulatory Patient. 津田司, **伴信太郎**監訳. 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1999.
- 2) Primary Care Collection from the New England Journal of Medicine. **伴信太郎**訳. 東京: 南江堂, 2002.
- 3) 外来診療マスターブック. **伴信太郎**監訳. 東京: 医学書院, 2002.

- 4) **伴信太郎**. 前書き 1987/前書き 1997/第 1 章 コミュニケーションを上手にとるには. 臨床の場で効果的に教える: 「教育」というコミュニケーション. 伴信太郎, 佐野潔監訳. 東京: 南山堂, 2002, pp1-3, 5-7, 11-26.
- 5) **佐藤寿一**. 第 2 章 教育者と学習者の役割/第 3 章 教育者—学習者の関係. 臨床の場で効果的に教える: 「教育」というコミュニケーション. 伴信太郎, 佐野潔監訳. 東京: 南山堂, 2002, pp27-40, 41-50.
- 6) **向原圭**. 第 4 章 静かに耳を傾ける, 交渉, そして挑戦/第 9 章 ベッドサイド・ティーチング. 臨床の場で効果的に教える: 「教育」というコミュニケーション. 伴信太郎, 佐野潔監訳. 東京: 南山堂, 2002, pp51-85, 161-178.
- 7) **鈴木富雄**. 第 5 章 教える方法について/第 6 章 講義. 臨床の場で効果的に教える: 「教育」というコミュニケーション. 伴信太郎, 佐野潔監訳. 東京: 南山堂, 2002, pp89-95, 97-118.
- 8) **北村和也**. 第 7 章 グループ・ディスカッション/第 6 章 講義. 臨床の場で効果的に教える: 「教育」というコミュニケーション. 伴信太郎, 佐野潔監訳. 東京: 南山堂, 2002, pp119-132.
- 9) **伴信太郎**監訳. SECTION1 疼痛/ SECTION2 体温の変動/ SECTION8 性機能および生殖機能の変調, Part2 主要症候, ハリソン内科学第 1 版(原著第 15 版). 福井次也, 黒川清監訳. 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2003.
- 10) **伴信太郎**監訳. SECTION1 疼痛/ SECTION2 体温の変動/ SECTION8 性機能および生殖機能の変調, Part2 主要症候, ハリソン内科学第 2 版(原著第 16 版). 福井次也, 黒川清監訳. 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2006.
- 11) **鈴木富雄**. 18 不明熱, SECTION2 体温の変動, Part2 主要症候, ハリソン内科学第 2 版(原著第 16 版). 福井次也, 黒川清監訳. 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2006, pp120-124.
- 12) **若林英樹**. 第 3 章「家族システムの概念」, 第 5 章「日常診療への家族の参加」. 家族志向のプライマリ・ケア. 松下明監訳. 東京: シュプリンガーフェアラーク, 2006, pp26-29, pp31-66.
- 13) **西城卓也**. 35 章 急性の下肢痛を訴える Wilson 氏, よくある症状-見逃せない疾患. 大西弘高監訳. 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2007, pp359-363.
- 14) **伴信太郎**監訳. SECTION1 疼痛/ SECTION2 体温の変動/ SECTION8 性機能および生殖機能の変調, Part2 主要症候, ハリソン内科学第 3 版(原著第 17 版). 福井次也, 黒川清監訳. 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2009.
- 15) **鈴木富雄**. 18 不明熱, SECTION2 体温の変動, Part2 主要症候, ハリソン内科学第 4 版(原著第 18 版). 福井次也, 黒川清監訳. 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2009, pp134-138.

- 16) 家庭医療の技術: ファミリーフィジシャン養成講座. **伴信太郎**監訳. 東京: 日経メディカル, 2011.
- 17) **伴信太郎**監訳. SECTION1 疼痛/ SECTION2 体温の変動/ SECTION8 性機能および生殖機能の変調, Part2 主要症候, ハリソン内科学第4版(原著第18版). 福井次也, 黒川清監訳. 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2013.
- 18) **鈴木富雄**. 18 不明熱, SECTION2 体温の変動, Part2 主要症候, ハリソン内科学第4版(原著第18版). 福井次也, 黒川清監訳. 東京: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2013, pp135-139.
- 19) **鈴木富雄**. 第23章 直腸, サパイラ身体診察のアートとサイエンス原著第4版. 須藤博, 藤田芳郎, 徳田安春, 岩田健太郎監訳. 東京: 医学書院, 2013, pp613-620.